



美唄

B i b e i

モチモチの木

ちっとも暑くならない夏はいつのまにか過ぎてしまっ、もう落ち葉の季節になってしまいました。自宅玄関前の道路には「菜の花通り」という名前がついているのですが、菜の花などどこにもなくて、かわりに栃の木が街路樹として植えられています。この栃の木のでっかい葉っぱが今年もばさばさと落ち始めているのですが、葉っぱだけでなく立派な実が時には頭にこつんと当たってしまうほどたくさん落ちてくるのです。栃の実の外側はいがのない栗のような感じで、中の実も栗にそっくりです。昔は保存食として栃の実を食べた…という話を聞き、なんだか食べてみたくなってしまいました。でもそういう時にかぎって歩道に実が落ちていません。カラスなんか食べているのでしょう。

夫にそのことを話すとまだ木にくっついている実をとってくれるというのです。外に出てしばし木を見つめる夫…「もしかして？木登りするの？」と思ったら、玄関にあった自分のゴルフシューズとってきて、栃の実めがけて放り投げたのです。靴はみごとに実に命中し、大きな実が歩道にコッーンと落ちてきました。「昔とったキネヅカき」と

得意そうな夫、たいしたキネツカでもないけどと思いましたが、あとで自分でやってみたら意外にうまくいかず、やっぱキネツカなのでしょうね。

さて無事収穫した実をむいてみました。包丁で皮をむくと薄黄色の栗にそっくりないかにも美味しそうな実が出てきました。それを栗同様にゆでることにしました。ゆでると瓶詰めの栗の甘露煮のようなきれいな黄色に変わって、いっそう美味しそうです。いよいよ試食です。おそろおそろ口にすると、ほくほくとした食感はあるのです



が、後味が非常に苦く、食べれたものではありません。クエックエツと吐き出し、そのあとうがいをしなければなりません。

「モチモチの木」という絵本があります。岩崎書店から出ている有名な絵本で、よく優良絵本として紹介されている絵本です。「モチモチの木」とは「栃の木」のことです。じさまが孫に「栃餅」を作ってくれるのですが、それがほった落っこちるほどうまいんだそうです。でもうちの前の栃の木の実には身震いするほど苦い、栃の実も甘柿渋柿みたいに種類があるのでしょうか？それとも渋柿同様何かの方法で渋抜きをしているのでしょうか？とても気になるのでインターネットで調べてみることにしました。

(以後次号に続く)

(吉村裕美子記)

年末年始の開館時間について

下記の期間のみ開館時間を変更します

平成13年12月31日(月) 午前8時～午後6時

平成14年1月1日(火) 午前9時～午後6時

1月2日(水) 午前8時～午後6時

1月3日(木) 午前8時～午後6時

お知らせ

年末年始の事務所休日について

恒例により、年末年始は下記の通り休務いたしますので、あらかじめご了承下さい。

北海道歯科医師会 (自 平成13年12月29日(土)
北海道歯科医師国民健康保険組合 (至 平成14年1月4日(金))

(株)道歯企画 (自 平成13年12月29日(土)
(至 平成14年1月4日(金))

(なお、12月は雪害等により発送業務の遅れが予想されますので、用紙・スルフォン等の注文は早めをお願いいたします)